



国際競争・5Gインフラ整備 についての意見（エリクソン・ジャパン）

➤ 国際競争が激化する中、世界に先駆けて5Gビジネスを拡大するためにはどのような考え方が必要か。

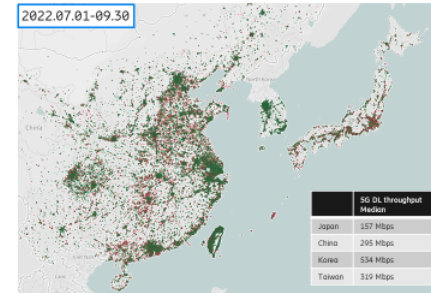
（意見）5Gビジネスのベースとなるのは、5Gネットワークです。国際競争という点で5Gネットワークを見た場合・性能面で他国に比べて劣っているというデータが出ております。（資料2-2のページ3および4）。カバレッジ・スループットの両面において国際競争力のあるネットワークを作ることが必要だと考えます。

➤ 5G基地局整備に係る投資を促進するためにどのような方策が考えられるか。

（意見）上記を受け、カバレッジ・スループットなどの性能面を指標にして、国際競争力のあるネットワークを作るための目標を設定することが考えられます。

また、そうした目標を実現するに当たり、5Gネットワーク整備に関わる補助事業などの施策は、その利用条件を性能の良い5Gネットワーク整備という目標に集中することで引き続き有効と考えます。

5Gパフォーマンス (1)

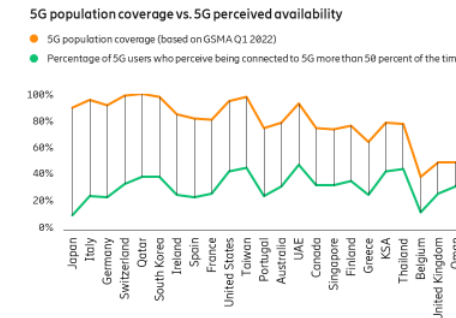


5Gの下りスループットに関して、中央値で100Mbps以上を実現しているが、隣国と比較し劣る

• Data points on minimal 1 record per location, aggregated size ~1x1km
 • Data sample: 2021-07-01-09:30, 2022-07-01-09:30
 • Not displayed western region in China due to very small site density.
 • GREEN data indicate DL speed > 100Mbps, RED data indicate DL speed < 100Mbps.

Source: Based on analysis by Ericsson of Ookla® Speedtest Intelligence® data for Q3 2022

5Gパフォーマンス (2)



5G人口カバー率とユーザ体感としての5G利用率には大きな乖離がある

5G利用率が40%近い国もある一方、日本では10%程度

Note: Smartphone users aged 15-69 in 5G markets
 Source: Ericsson ConsumerLab, 5G: The next wave, 2022